



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和7年6月11日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ カメヤマジョウセキホゾンカイ
団体名 亀山城跡保存会
所在地
連絡先
フリガナ
代表者

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ☐ ウ 地域計画づくり ☐ エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	浮田ふるさと再発見事業
事業実施小学校区・地区	浮田学区
事業実施回数	新規 ・ 継続 12 回目 / 【 26 年度から】
課題	戦国の雄、岡山開府の祖と言われる宇喜多直家・秀家親子、その直家が戦国大名に名乗りを上げた居城であり、また豊臣秀吉に信頼を得て五大老の一人にまで上りつめた秀家の人生の始まりは亀山城であります。この亀山城西の丸は浮田小学校の敷地内にあり、『亀山城の城跡に・・・』と校歌に歌われています。 しかし、地域の新しい住民や若い世代には、その歴史的価値は十分知られてはおらず、歴史的資源としての愛着も薄れています。 今後、多くの学区民に郷土の偉大な先人と亀山城という郷土の歴史遺産を正しく理解し関心を持ってもらい、多くの方々に広めていく必要があります。

事業の目的	宇喜多直家飛躍の地・秀家誕生の地である亀山城跡を、この地域の歴史遺産として継続的に保存し後世に引き継ぎ、地域おこしの一役を担うことを目的とします。 ・事業は12年を経過した。引き続き岡山市指定遺跡の歴史遺産の維持・管理を継続していく。 ・岡山市指定史跡に指定されたこの貴重な郷土遺産を、地域住民はじめ区内外の多くの方々に知っていただく。 ・地域の子どもたちに愛着がもてるような場所となることを目指す。 ・「亀山城跡しおり」を活用して広報活動を行い、多くの方々に訪問していただき歴史を感じることできる場所としていく。
事業の内容	1. 城跡の管理 浮田学区の町内会及び学生ボランティア活動等広く清掃活動と呼び掛ける。 城跡を明るい場所とする、そして景観をよくするための樹木伐採を行う。 (学生の清掃活動の後は歴史の講話の時間を設定している。) 2. 歴史の講演会の開催 毎年テーマとして、宇喜多直家・秀家に関連する人物や、この時代、地域に関連する逸話など、歴史研究家を講師に招いてお話しいただく。 2月に開催 150名程度。 3. 歴史に親しむ子どもの活動支援 ・伐採した木を使つての野外での木工工作教室や、林を利用しての椎茸栽培などの試みを平成29年度より始めたが、近年中断（コロナ）しているができれば継続していきたい。 ・亀山城跡保存会浮田子どもクラブ（浮田小学校6年生）の発案で、平成29年度は記念スタンプを制作設置した。また、平成30年度は秀家・豪姫の顔出しパネルを制作設置した。子どもたちのアイデアに沿った臨機応変な対応を行う。 ・浮田小学校の日本史（戦国時代）の授業を城跡で行う。 ・亀山城プレーパークを「NP0法人岡山市こどもセンター」の協力をいただき引き続き開催。 ・八丈島大賀郷小学校と浮田小学校の子どもたちの交流（授業）の手伝い。 (パワーポイント資料などの情報共有) 4. 亀山城跡保存会会員の募集 正会員・賛助会員の会員数をさらに増やすための広報活動を行う。 5. 亀山城跡と周辺の調査・研究（亀山城跡保存会会員の現場研究）

期待される成果・目標	・ 亀山城は、宇喜多秀家に代って岡山城に入城した小早川秀秋によって、天守が岡山城の大納戸櫓に移築された他は全てを取り壊し廃城となった。当時の城の姿形が見えないことから史跡調査の専門家を招致して会員自ら城跡の調査勉強会を行う。 ・ 子どもたちが城跡にふれあう活動を継続することにより、地域の人に広報すれば郷土の歴史遺産に一層の親しみを持ってもらえる。 ・ 歴史講演会の実施は地域住民だけでなく地域外からも参加者の大きな広がりを感じる。さらに広域に広報活動によりさらなる広がりを目指す。 ・ 「亀山城跡しおり」（別添：亀山城跡保存会作成）は各説明会に使用している。 ・ 本事業を維持していくことで地域活動の活性化が一層図れると考える。 ・ 亀山城跡の東屋に来訪者ノートを置いているが、結構遠方からの来訪者も多く、希望者には亀山城跡しおりや過去の講演会資料などを送付して喜ばれている。
企画などの工夫	・ 亀山城跡保存会浮田子どもクラブ（浮田小6年生が対象）への会員証授与式を教室ではなく現地で実施することでより歴史に触れ合う。 ・ 講演会講師の選定と演題 昨年度は学者の先生の講師を招き興味ある講演会が開催できた。今後も講師選定に工夫をこらす。 ・ 城跡の清掃管理等の人員配置 亀山城跡を知ってもらうために各団体にも呼び掛け多岐にわたる人の参加を推進する。また、展望が悪くなっていることや植樹した桜の木の成長を阻害していることもあって、城跡の樹木伐採を行っている。 ・ 城跡に親しんでもらうための子どもの遊び場や学習の場としての活用 亀山城プレーパークの開催。“NPO 法人岡山こどもセンター”の協力により子供たちの遊び場づくりや遊び方を継承する。 ・ 浮田小学校の社会の授業（戦国時代）を教室から離れて城跡で実施する。また、上記管理で伐採した木材や枝を活用して木工工作や椎茸栽培などを行う。 ・ 亀山城跡の調査・研究 講演会講師による現地での調査支援や勉強会を行う。

協働する団体等	浮田学区連合町内会 浮田小学校（PTA、子ども会などを含む） 浮田とちのみこども園（保護者の方々も含む） 上道中学校 上道公民館 NPO 法人岡山市こどもセンター
事業の情報公開	・岡山市電子町内会浮田学区連合町内会ホームページ内の亀山城跡保存会便り等。 ・小学校、中学校への催し物等の情報提供。 ・公民館を通じての情報提供。 ・「亀山城跡しおり」を配布しての情報提供。 ・「市民のひろば」で講演会の開催を周知。
学区地区への広がり	亀山城跡保存会が設立されたのは、元々浮田学区の活動として構想されたものである。 前述の「協働する団体」とも協力してさらに広げていきたい。
前年度からの見直し拡充点	・講演会の開催の広報エリアは、従来の学区内はもちろん、上道公民館や瀬戸公民館、岡山のいくつかの歴史研究グループ、その他、店舗などに講演会チラシを置いてもらい、多くの人に目に留まるようにした。また、新聞の催し物案内にも掲載したことにより、前年度も参加者が多数で盛況であった。さらに広報エリアを広げていく。 ・大人だけでなく子どもが亀山城跡に親しむ活動を、意識的に取り組んでいきたい。平成29年度から、城跡での木工工作や椎茸栽培などの取り組みを始めたが、さらに子どもたちのアイデアを募っていきたい。子どもクラブの活動は小学校側が実施するか否かの判断による。 ・また、市の担当者から子どもの活動の場所としてのプレーパークへの取り組みの提言をいただき、昨年度7回目を開催した。今年度は、その実行主体となる人材として小学生の子どもをもつ親世代の若手大人へ主旨の呼びかけと、関心をもってもらえるよう働きかけを行っていきたい。

次 年 度 以 降 の 予 定	①次年度以後の活動計画 ・施設や環境の維持 近隣住民や小中学校には気軽に立ち寄って次年度もきめ細かい施設、環境の維持を目指す。 ・歴史の講演会の開催について地域の歴史に興味を持つ話題の講師選定、講演会の開催の広報活動範囲を広げていく。 ②資金の確保について ■次年度も区づくり推進事業を申請する予定 □（ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策： 保存会会員及び賛助会員（会費 各 1,000 円）の募集を継続的に行う
そ の 他 P R し た い 点	亀山城は城郭が大規模で曲輪が良好に残っていること、旧備前国における戦国期の代表的な城であることなどから重要な歴史遺産であると認められ、平成 24 年岡山市の指定史跡に指定されました。 当東区エリアは魅力ある文化財、遺跡などが数多くあります。私ども亀山城跡保存会はこの地域でイベントを開催することにより、地域の方々に歴史にふれあう機会の場をつくり、子供たちには自然にふれあう場所になればと思っています。 現在、岡山市民県民の夢である大河ドラマに名乗りを上げています。今後亀山城跡に立ち寄られる訪問者の方も多くなると思われます。「来てよかった」と思われる環境整備だけでなく、あらゆる機会を活用して情報発信を進めていく予定です。

事業スケジュール

月日	活動内容
4 月	・ 亀山城跡保存会運営委員会 ・ 令和6年度亀山城跡保存会理事会 ・ 亀山城保存会の会員募集（年間を通じて実施）
5 月	・ 亀山城跡保存会浮田こどもクラブ会員証授与式
6 月	
7 月	・ 6 年タウンミーティング参加
8 月	
9 月	・ 浮田こどもクラブによる歴史クイズの発案検討 ・ 亀山城跡保存会運営委員会(今年度事業の企画等)
1 0 月	・ 亀山城跡の清掃・管理（浮田小学校と合同・含む歴史講話）
1 1 月	・ 亀山城跡の樹木の伐採 ・ 亀山城プレーパークの開催 ・ 岡山の開祖宇喜多氏飛躍の地・うきだ振興まつり （写真展、歴史クイズでの参画）
1 2 月	・ 郷土の歴史講演会の準備 ・ 亀山城跡の清掃・管理（上道中学校と合同・含む歴史講話）
1 月	・ 郷土の歴史講演会の準備
2 月	・ 郷土の歴史講演会開催
3 月	・ 亀山城跡保存会運営委員会(今年度事業の反省等) ・ 子どもの木工工作教室、椎茸栽培の菌植え込み、など

収支予算書

(令和7年度)

収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込み額	予 算 額	内 容
岡山市補助金	144,100	345,500	
実施団体負担金	25,917	15,500	亀山城跡保存会
参加者負担金			
協賛金	118,300	330,000	町内会助成金および企業協賛金
寄附金、他収入			
収入合計	288,317	691,000	

支 出

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込み額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	153,403	76,000	以下別紙添付資料に記載 事務用品
②食糧費	28,881	41,000	
③印刷製本費	28,375	420,000	
④燃料費	0	15,000	
⑤光熱水費	0	0	
⑥通信運搬費	17,724	16,000	
⑦広告料	0	0	
⑧手数料	550	1,000	
⑨使用料・賃借料	0	16,000	
⑩原材料費	2,524	14,000	
⑪委託料	0	0	
⑫工事請負費	0	0	
⑬報償費	54,860	60,000	
⑭保険料	2,000	12,000	
⑮旅費	0	20,000	
支出合計	288,317	691,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	希望する	希望しない
----------------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。